

県大 jiman

2015
FEBRUARY
016

滋賀県立大学広報誌

特集

SCOOOOPE!!!!

県大方言図鑑

県大ランドスケープ

突撃！jimanな先生

県大REPORT

After School Report 自転車サークルりんりん

県大ギャラリー 写真部 美術部

Back Number Review!!

Information

News:『卒業特集』

KENDAI JIMAN

「県大 jiman」について
琵琶湖と滋賀の自然をイメージカラーにし、胸を張って
「自慢」する、明るく前向きに応援する気持ちをロゴにデザ
インしました。

県大イベントカレンダー

- 2月 03日 調整期間(集中講義)開始
09日 調整期間(集中講義)終了／後期授業終了
10日 後期定期試験開始／
　　大学院入学試験(人間看護学研究科人間看護学専攻修士課程)
12日 大学院入学試験(人間文化学研究科生活文化学専攻博士前期課程)
　　大学院入学試験(人間文化学研究科地域文化学専攻博士後期課程)
13日 大学院入学試験(人間文化学研究科地域文化学専攻博士前期課程)
18日 後期定期試験終了
20日 第19回就職セミナー(面接対策セミナー)
23日 第20回就職セミナー(会社準備セミナー)
25日 一般選抜試験前期日程
27日 大学院入学試験(環境科学研究科環境動態学専攻博士前期課程)
　　大学院入学試験(環境科学研究科環境計画学専攻博士前期課程)
　　大学院入学試験(環境科学研究科環境動態学専攻博士後期課程)
3月 02日 大学院入学試験(工学研究科先端工学専攻博士後期課程)
04日 企業研究会(～6日)
12日 一般選抜試験後期日程
21日 学位記授与式
23日 春季休業開始
4月 07日 入学式
08日 夏季休業終了／全学オリエンテーション
09日 前期授業開始
11日 新生TOEICテスト
29日 祝日授業日(水曜日科目)
5月 07日 月曜授業日
08日 水曜授業日
09日 木曜授業日
10日 土曜授業日
11日 研究会発表会
12日 研究会発表会
13日 研究会発表会
14日 研究会発表会
15日 研究会発表会
16日 研究会発表会
17日 研究会発表会
18日 研究会発表会
19日 研究会発表会
20日 研究会発表会
21日 研究会発表会
22日 研究会発表会
23日 研究会発表会
24日 研究会発表会
25日 研究会発表会
26日 研究会発表会
27日 研究会発表会
28日 研究会発表会
29日 研究会発表会
30日 研究会発表会
31日 研究会発表会
6月 06日 営業記念日／開学20周年記念式典／大学祭「湖夏祭」
7月 18日 調整期間(月曜日授業の補講等)
25日 オープンキャンパス
26日 オープンキャンパス
29日 調整期間(水曜日授業の補講等)
30日 調整期間(木曜日授業の補講等)
31日 調整期間(金曜日授業の補講等)
8月 01日 調整期間(火曜日授業の補講等)
03日 前期定期試験(～7日)
08日 夏季休業開始
10日 調整期間(集中講義)(～12日)
21日 地域活動実践タイム(～23日)

KENDAI JIMAN

特集

SCOOPPE!!!!

県大方言図鑑

今回のテーマはSCOPE。
「県大」を軸として、あらゆるもの
「ちょっと遠くから」の視点で見てみました。
県大には毎年、全国各地から学生が集まっています。
同じ学生でも、出身地が違えば方言も違う。
そんななかで、身の回りを意識して見ると、
思わぬ発見が見つかるかも。
そこで今回は、方言クイズとともに
「滋賀と各出身地」について
学生のみなさんに聞いてみました。

CONTENTS

特集

- 03 県大方言図鑑
- 05 県大ランドスケープ
- 07 突撃!「jiman」な先生
人間看護学部 人間看護学科 甘佐京子教授

県大 REPORT

- 09 After School Report
自転車サークル りんりん 決めた。ここに行こう。
- 10 県大ギャラリー
- 11 Back Number Review!!
- 12 Information
- 13 News:『卒業特集』

年2回発行

夏号 7月下旬
冬号 2月上旬

ABOUT

滋賀県立大学広報誌「県大 jiman」は県大が持つキラリと光る
「jiman」なところを紹介する広報誌です。「県大 jiman」は今
年で創刊8年目を迎えました。

今回の特集は、SCOPE。県大を様々な視点で見てみると、たくさんの知らない顔を持っていることが分かりました。
これからも「県大 jiman」をよりよい広報誌に育てていくために、今後もみなさんの協力をいただきたいと思いますので、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

学生広報スタッフ大募集!

広報誌作成グループでは、県大 jiman の作成に参加してくれる学生を募集しています。
私たちと一緒に、県大の素敵な「jiman」をしてみませんか?
デザインや編集の専門知識が無くても大丈夫です。
外部のデザイナーさんや編集者を招いて勉強会なども行う予定ですので、興味のある方は、気軽にお問い合わせください。

今季から参加させていただきました。
次回からはもっと参加していきます!
(生活デザイン学科1回生 本保絵莉子)



デザインについてはずぶの素人のため、
会議で飛び交う意見はとても参考になりました。
(事務局 柳沼勇多)

瀬戸内海とみかん。
これからも県大 jiman たのまいね!
(生活デザイン学科2回生 中道千尋)



えんぴつ塔に登ることができて
楽しかったです!
(人間関係学科2回生 福本萌)

3年間、学生スタッフとしてお世話になりました。
これからの県大 jiman に期待しています。
(生活デザイン学科4回生 福島 淳)



取材にご協力いただいた皆さんに感謝します。
「いちびる」が方言だったことに驚きました。
(人間関係学科2回生 井上友希)

あなたも一緒に
県大 jiman を作ってみませんか?
(事務局 中嶋崇裕)



世界に名だたる白川郷
(事務局 玉井大輔)

次は20周年記念号。
学生企画期待しています!
(生活デザイン学科教員 佐々木一泰)



全国から学生が集まる
公立大学であります。
(機械システム工学科教員 河崎澄)

滋賀県立大学広報誌「県大 jiman」第16号
発行 | 滋賀県立大学広報委員会
編集 | 広報誌作成グループ

Tel | 0749-28-8200 FAX | 0749-28-8470

E-mail | keiei_kikaku@office.usp.ac.jp

発行日 | 2015年2月

www.usp.ac.jp

誌面デザイン : 福島淳、井上友希
中道千尋、福本萌、本保絵莉子

彦根城

彦根城から見た県大↓



←彦根城のお堀にいた
ブラックスワン（！？）

県大 ランドスケープ

「彦根に高いところなんてあるの？」
そうお思いのあなた!! 学生企画その2では県大jiman学生
スタッフが口ヶ駅を行った場所から、県大を見下ろしてみました。
スタッフが口ヶ駅を行った場所から、県大を見下ろしてみました。
スタッフが口ヶ駅を行った場所から、県大を見下ろしてみました。
スタッフが口ヶ駅を行った場所から、県大を見下ろしてみました。

江戸時代初期、井伊氏の拠点とし
て彦根山に築城されました。彦根市
の観光の定番であるココからも、県
大は見えるんです！彦根市内の学
校・大学に通う人は、学生証を提示
すると無料で入れるので、ぜひ行っ
てみてください！



荒神山



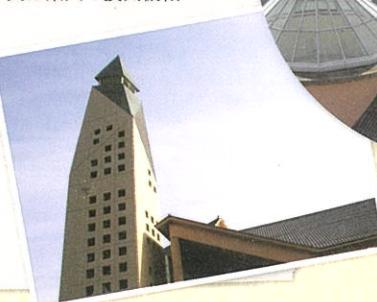
↑荒神山から見た県大
センター広場が見えます



←荒神山公園から写真を撮ってみました

彦根市の中西部、県大の近くにある山。
麓には荒神山公園があり、そこからも写真
を撮ろうとしましたが、頂上の方が県大を
綺麗に見下ろすことができました。宿泊施
設もあるので、滋賀県の人の中には来たこ
とのある人もいるかも？

なんと、今回特別に許可を取ってえんぴつ
塔にも上ってきました！実は県大の換気機械
や携帯電話のアンテナ
があることはあまり知
られていないのではないか？何せ県
大のシンボルになるほ
どの高さなので、一番
上に着いた時には足が
震えていました……。



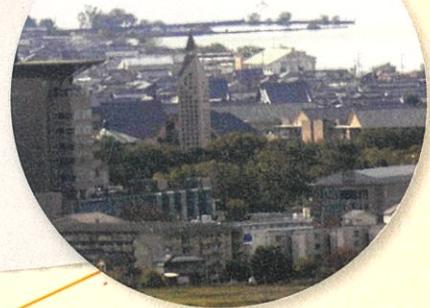
えんぴつ塔

←麓にあった
石田光成像



佐和山城跡

かつて石田光成の居城がありま
したが、関ヶ原の戦いにより落城
したという歴史を持つ山。今回の
口ヶ駅の中で一番県大から遠い場
所でしたが、ちゃんと見えました！団体で登る際は、山の所有者
である清涼寺や龍潭寺の許可をも
らうことをお忘れなく。



↑佐和山から見た県大
建物の陰に隠れますが
えんぴつ塔が見えます



えんぴつ塔から見た
共通講義棟（A棟）↓



県大ミニデータ集

1 県大生の出身県
(2014年12月現在)
(出身県は出身高校で判定しています。)

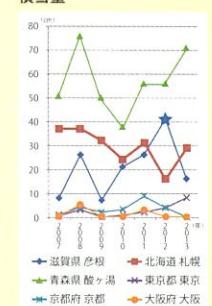
県大生が
1人の都道府県
岩手県(1名)、福島県(1名)、
埼玉県(1名)、山梨県(1名)、
島根県(1名)、熊本県(1名)

県大生が
10人未満の都道府県
北海道(5名)、宮城県(4名)、
茨城県(3名)、栃木県(4名)、
千葉県(2名)、東京都(3名)、
群馬県(2名)、岡山県(7名)、
山口県(2名)、徳島県(2名)、
香川県(7名)、愛媛県(5名)、
高知県(3名)、福岡県(2名)、
佐賀県(2名)、長崎県(3名)、
宮崎県(5名)、鹿児島県(3名)

県大生が
100人未満の都道府県
新潟県(11名)、富山県(17名)、
石川県(22名)、福井県(33名)、
長野県(18名)、静岡県(54名)、
三重県(51名)、兵庫県(84名)、
奈良県(61名)、和歌県(21名)、
鳥取県(10名)、広島県(18名)

県大生が
100人以上の都道府県
岐阜県(159名)、愛知県(164名)、
滋賀県(1019名)、京都府(590名)、
大阪府(301名)

2 県大(彦根)の積雪量
1年で最も雪が降った日の
積雪量



2012年は実は北海道よりも
雪が降った日がありました！

県大方言図鑑 Answer

- Q1 → 交換する
- Q2 → 指名する
- Q3 → だるい、しんどい
- Q4 → 調子に乗る
- Q5・9 → 授業と授業の間の休み
- Q6 → (だしが食材に)しみる
- Q7 → 面倒くさい
- Q8 → 「うどん」の幼児語
- Q10 → 底にたまる
- Q11 → 押す
- Q12 → 正座



漫才中の甘佐先生（左）

日本笑い学会総会の時にネタを披露し、その時は、学生（ゼミ生）にもは甘佐先生作です。

実は甘佐先生は漫才をやっていました。「笑い」が心身に非常に効果があるからだそうです。

日本笑い学会という学会があり、12年ほど前、学会の滋賀支部が立ち上がり、際に学会に勧誘されたそうです。その時にコンビ、XX（ダブルエックス）（写真・左）を友人の保健師さんと一緒に結成し漫才を始められました。コンビ名の由来は、お互い匿名でやろうと、匿名「X」と「X」のコンビ、ということのようです。（ちなみに、「Wヤングさん」とは関係はありません（笑））とのこと）

甘佐先生は前世が猫だそうです。「県大に住み着いてしまった猫を2匹も引き取ってしまいました。私に駆け寄ってきてくれて…今は、家に4匹います。

甘佐先生は前世が猫だそうです。「県大に住み着いてしまった猫を2匹も引き取ってしまいました。私に駆け寄ってきてくれて…今は、家に4匹います。

普段から「猫が好き」と公言しているため、たくさんの方から「こんなのがあったよー」と、いろいろな猫グッズをいただくそうです。そのおかげで、研究室は猫でいっぱい。どんどん増えていった結果が写真（右下）の状態です。（※写真は先生の研究室のほんの一部です。）

自分らしさが大事!!

精神疾患は怖くない!!
正しい知識と正しい理解を



たくさんの猫たち

新入生や在学生に向けて「みなさんは、大学の4年間で自分を見つめて、『自分らしい看護』や『専門職つて何なのか』を考えてほしい。」「枠にとらわれない、いろんな視点を持ち、考え方の幅を広げていってほしい」とメッセージをいたしました。

例えば、中学校の保健体育の教科書は、ストレスや薬物、喫煙などについての記載はありますが、精神疾患についての記載はありますか？現状は、「病気に対する情報が少ない→よくわからない病気→怖い病気」という図式であらわされているようです。これは、こどもだけでなく大人も誰からも教わることがないため、正しい知識がなく、怖がってしまうことにつながるようになります。裏を返せば、正しい知識さえあれば、

『猫』と『笑い』をこよなく愛する看護の先生

突撃！jimanな先生

人間看護学部のユーモアあふれる癒やし系先生にSCOPE！

今回のjimanな先生は、人間看護学部人間看護学科の甘佐京子教授です。



兵庫県と滋賀県の病院で6年間臨床を経験（小児科3年、精神科3年）
知り合いの教員に誘われたことがきっかけで、滋賀県内の看護専門学校で教員としての道を歩み始める（約6年間）
平成12年4月 滋賀県立大学看護短期大学部 講師
平成15年4月 滋賀県立大学人間看護学部人間看護学科 講師
平成21年4月 神戸大学 大学院保健学研究科 准教授
平成22年4月 滋賀県立大学人間看護学部人間看護学科 准教授
平成23年5月 滋賀県立大学人間看護学部人間看護学科 教授

どんな病気も家族の支援が大切

甘佐先生は、看護師として臨床の現場で働いたところから「小児看護」と「精神看護」に興味があつたようです。精神看護はいろいろな看護のベースになる部分らしく、看護は日々進化していく部分と普遍的な部分がありますが、精神看護はまさに普遍的な部分であり、奥が深くて面白いそうです。特に、こども精神に関する研究を行つておられ、精神疾患を持つごとに家族とのかわりや、こどもたちへの支援、また親が精神疾患になる場合もあり、学校一地域一病院の連携を基にした早期介入について、様々な角度から「こども」と「精神疾患」について見つめられています。

どんな病気もそうですが、治療には家族や周囲の支援が非常に大切だそうです。今、取組まれているのは、きょうだいに精神疾患の子どもがいるご家族を対象とした研究のようです。疾患を持つこどもがいるご家族を対象とした研究のようです。疾患を持つこどもがいると、しかし、健常な子は、かりにつきりになる傾向にあります。疾患を持つこどもがいる子にかかる問題を明らかにし、介入方法について検討をされています。

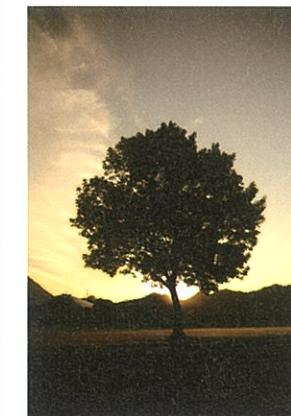


お気に入りのタンブラー

県大ギャラリー

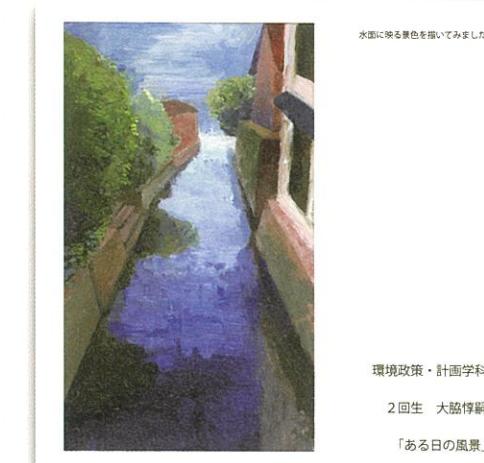
県大のクリエイションを特集します。
今回は写真部と美術部です。

●写真部
●部員数／38人 ●活動日／毎月2回会議、月1回以上の撮影会
●連絡先／HP : <http://photospweb.fc2.com> / ブログ : <http://photospweb.fc2.com> / Twitter : [photo_usp](https://twitter.com/photo_usp)



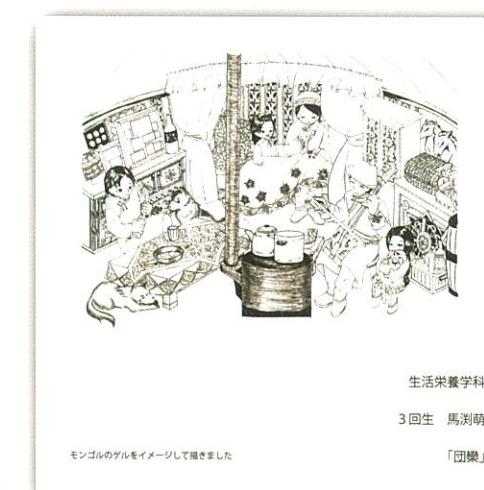
滋賀県内で撮影しました
やはり植物は美しいです

生物資源管理学科
3回生 小幡善也



水面に映る景色を描いてみました

●部員数／19人 ●活動日／金曜日の昼休みミニーティング、活動は各自製作 ●活動場所／部室、家、野外など

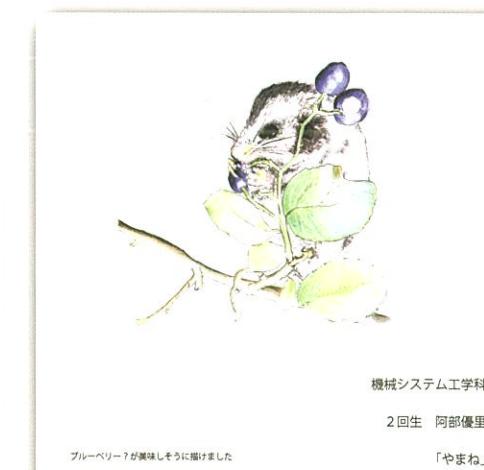


生活栄養学科
3回生 馬渕萌
「団欒」



肉眼では見えない星達の世界をカメラに収めました

機械システム工学科
2回生 三好竜平



機械システム工学科
2回生 阿部優里
「やまね」



モンゴルでの一枚
モンゴルでは熊の折騰としてあちこちに点在しています

国際コミュニケーション学科
3回生 柴田友登

決めた。ここに行こう。



代表: 櫻井宣郎さん
地域文化学科3回生

齊藤達彦さん
地域文化学科4回生

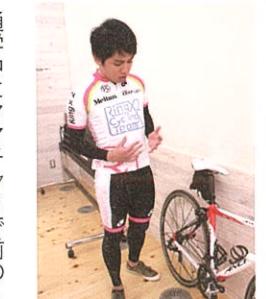


After School Report

自転車サークル りんりん

今回は「自転車サークルりんりん」(以下りんりん)です。ユニフォーム着用で現れたのは、3回生で代表の櫻井さん、そして4回生の齊藤さん。二人ともユニフォーム着用で引き締まつて見える。

ロードバイクについて熱く語る櫻井さん



滋賀だけではなく、三重や京都、しまなみ海道など、遠方にまで自転車を走らせる「自転車サークルりんりん」にSCOPEしてみました！

「りんりんの魅力は?
自分の脚と力で行きたいところに行けるのが良い！」(櫻井さん)

自転車、と一口に呼んでいるが、実際りんりんの人達が乗っているのは「ロードバイク」と呼ばれるスピードの出る自転車。そのスピードは、2、30キロを越え、ママチャリのほぼ2倍の速度。

「自転車に興味があつたわけではな
りんりんに入ろうと思った理由
は？」

走れない雨の日には、室内トレーニングをしたり、みんなでご飯を食べたりして親睦を深めている。

週3日。荒神山など自分たちの好きな道を選んだツーリングの他、休日は、琵琶湖一周など、遠方やロングツーリングを楽しんでいる。

今週は「自転車サークルりんりん」(以下りんりん)です。ユニフォーム着用で現れたのは、3回生で代表の櫻井さん、そして4回生の齊藤さん。二人ともユニフォーム着用で引き締まつて見える。



しまなみ海道をツーリング！

お二人共、体を動かしたくてりんりんに入ったのだが、意外な事にロードバイクは初心者らしい。

都合が合わなくなつた末に、りんりん一本に絞りました。(櫻井さん)

「月1でロードでどこか行きたいな
あと思って、他の部とだんだん
口でバイクについてひ来て欲しい」(櫻井さん)

最後に新入生にひとことお願ひします！

初心者も経験者も大歓迎です！興味を持つたらぜひひ来て欲しい」(櫻井さん)

「人を追いかけてみたいという人もぜひ(笑)」(齊藤さん)



自転車サークルりんりん

●部員数／13人 ●活動日／火、木、金曜日（不定期）／水（ミニーティング）／休日（ツーリング）
●練習場所／荒神山など

●連絡先
ブログ / <http://ringringusp.blog68.fc2.com>
メールアドレス / silvias15gr@gmail.com
(代表：櫻井宣郎さん)

だが、大会に出場する人もいれば、ツーリングのみを楽しむ人もいる。りんりんの唯一のルールは、「部員は一年に一回大会に参加すること」。これは強制ではなく、楽しいから参加してほしいという想いからのようだ。

Information

貢献・表彰	
■個人（教員等）	
環境建築デザイン学科	永井 拓生 助教
JIA 東海住宅建築賞2014	大賞
国際コミュニケーション学科	島村 一平 准教授
第29回大同生命地域研究賞	大同生命地域研究奨励賞
生活デザイン学科	南 政宏 助教
2014アジアデザイン賞	メリット賞
材料科学科	徳満 勝久 教授
一般財団法人化物質評価研究機構	
環境建築デザイン学科	芦澤 龍一 准教授
中部建築賞協議会	第46回中部建築賞
環境建築デザイン学科	芦澤 龍一 准教授
一般社団法人日本建築美術工芸協会	芦原義信賞（新人賞）
環境建築デザイン学科	芦澤 龍一 准教授
JCD デザインアワード	銀賞
環境建築デザイン学科	芦澤 龍一 准教授
Re-thinking The Future Sustainability Award 2014 Third Award	
環境建築デザイン学科	芦澤 龍一 准教授
Re-thinking The Future Award Second Award	
環境建築デザイン学科	芦澤 龍一 准教授
Re-thinking The Future Award 2014 Third Award	
環境建築デザイン学科	芦澤 龍一 准教授
滋賀県商工観光労働部	「コクーンマーケット」ノーノー賞
環境建築デザイン学科	芦澤 龍一 准教授
第13回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール	審査員特別賞・屋上緑化部門
生活デザイン学科	山田 歩 助教
行動経済学会第8回大会	学会奨励賞
■個人（学生）	
工学研究科材料科学専攻	吉田 圭佑（1回生）
第9回日本セラミックス協会関西支部学術講演会	学生講演賞
生活デザイン学科	三枝 明佳（3回生）
DSP 第1回「デザインコンペティション」	佳作賞
第56回 NDK 新人デザインコンテスト	
生活デザイン学科	黒瀬 奈美（3回生）
第56回 NDK 新人デザインコンテスト	京都新聞社賞
生活デザイン学科	丸山 友希（3回生）
第56回 NDK 新人デザインコンテスト	
生活デザイン学科	松下 茉実（3回生）
第56回 NDK 新人デザインコンテスト	KBS 京都賞
生活デザイン学科	左高 歩（3回生）
第56回 NDK 新人デザインコンテスト	佳作賞
生活デザイン学科	嶋津 有香（3回生）
富山プロダクトデザインコンペティション2014	準優秀賞
工学研究科機械システム工学専攻	藤原 海（1回生）
日本混相流学会混相流シンポジウム2014	学生優秀講演賞
生活デザイン学科	保科 真喜子（2回生）
堀江チエアコンペティション2014	金賞
■団体（学科・クラブ）	
環境建築デザイン学科	陶器堺一研究室・永井拓生研究室
SDレビュー2014	入選
生活デザイン学科	南政宏研究室
滋賀県商工観光労働部	「コクーンマーケット」ノーノー賞
環境建築デザイン学科	芦澤 龍一 准教授
パッショーフデザインコンペ2014	住宅部門大賞
（10月1日付）	
地域共生センター	准教授
鶴飼 修	
（全学共通教育推進機構より）	
地域共生センター	助教
竹村 香織	
（地域連携推進グループより）	
（9月1日付）	
学生 就職支援グループ主事	
川井 操	
環境科学部 助教	
（10月1日付）	
地域共生センター	准教授
上田 洋平	
（全学共通教育推進機構より）	
退職 (9月21日付)	
人間文化学部	
南 和広	准教授
日本化学会	BCSJ賞
生活デザイン学科	山田歩研究室
石州和紙デザインコンペ2014	千葉すず賞
工学研究科材料科学専攻	エネルギー環境材料研究室

Back Number Review !! 15号の振り返り

2014年7月に発行された本誌前号である県大jiman15号を、実際に読んだ読者のみなさんのレビューと共に振り返ります！
新しい県大jimanの魅力が見つかるかも？
これを読んで15号を読みたくなつた方は、是非手に入れてみて下さい！

学生スタッフのチカラで大幅なデザインリニューアルを行いました！

「水色がびわ湖の感じが出ている」

「見やすい工夫などがほどこされている」

「デザインがよかったです！」

「大学生の中身を知れた気がする」

「普段何をもっているのか気になっていた」

「かばんの中身がオシャレだった」

「少人数ながらも、それぞれの学科でがんばっていてすごい」

「男子も女子も文系も理系も関係なく楽しめる大学だなと思いました」

「異性が多い中で自分の目標を目指していることがすばらしい」

「大学では、どんな先生がいらっしゃるかなかなか分からぬですが、とても分かりやすく、先生の日ごろ思っていらっしゃることも分かりました」

「他にはないおもしろい部活でとても興味深かった」

県大生のマストアイテム！
人気No.1

工学女子×看護男子
人気No.2

写真も インタビューも 学生スタッフが楽しんでいます！

突撃!! Jimanな先生

授業では分からない、先生の色々な才覚を見ることができます！



